2025 年度 介護福祉学科に関する情報公開

(1) 学校の概要等

学校の教育・人材養成の目標及び特色

本校はキリスト教精神に基づき、教育基本法及び学校教育法に則り、商業実務専門課程及び社会福祉専門課程を設置し、外国語、観光、商業、及び社会福祉の知識並びに技能を教授するとともに広範な国際的視野をもって、地域社会と人々とに奉仕する人材を養成することを目標とします。

① キリスト教の人間観に立った人材を育成します。

京都 YMCA は、京都の地においてキリスト教の理念に基づいて青少年の育成を様々な分野で行って来ました。YMCA では、共に生きていくということ、人間として相互に理解し共感するそのような価値観、人間観を持つ介護福祉士を養成したいと願っています。この人間観を養成するため「キャラクターディベロップメント(人格向上)」に取り組みます。人間形成に必要とされる価値は様々ですが、その中でも YMCA は特に、Caring (思いやり)、Honesty (誠実さ)、Responsibility (責任感)、Respect (尊敬心) が大切であると考えています。これらは、目新しいものではなく、人間の形成に関わる普遍的なものとして取り組んでいきます。

② 高い専門的知識と実習での能力を養います。

専門学校として高齢者社会の中で地域社会の要望に応え、専門職としての高い知識と技術を兼ね備えた福祉人材を地域に送り出し福祉社会の構築に貢献します。また、常に現場での実習を意識した授業を行います。施設実習では、現場の実習指導者と緊密な連携を保ちつつ、実習中の指導はもとより、実習前後の指導も十分に行い、即戦力となれる能力を養います。

③ 地域や全国、世界に広がるネットワークを構築しています。

全国に広がる YMCA 専門学校のネットワークを生かして、各地の YMCA の専門学校と協働して様々な情報提供や研究、研修の機会を提供します。また、日本にとどまらず、世界で通用する、介護の世界でリーダーとなれる人材を育成します。

校長名、所在地、連絡先等

校長 加藤 俊明

所在地 京都府舞鶴市字浜 1546-3

連絡先 電話 0773-64-3686 FAX 0773-64-3687

学校の沿革、歴史

1889 年(明治 22 年) 京都基督青年会 創立

1990 年(平成 2 年) 学校法人京都 YMCA 学園 設置認可

2015 年(平成 27 年) 舞鶴 YMCA 国際福祉専門学校 介護福祉学科設置認可

(2) 各学科等の教育

入学者に対する受け入れ方針及び入学者数、定員、在籍者数

- ・高等学校を卒業した者及び入学前年度末に卒業見込みの者、または高等学校を卒業した者を同等以上の学力のあると認められた者。
- ・外国籍を持ち、在留資格が「留学」である者、または入学時に「留学」の在留資格を取得できる見込みの者
外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者（2026年3月31日までに修了見込みの者を含む）
日本語能力試験2級（N2）以上の合格者、または日本留学試験の日本語科目で200点以上取得した者（同等の日本語能力を有する者を含む）
- ・離職者訓練生として、他の者と同様のカリキュラムで授業を受講し、介護福祉士を目指す者。
- ・介護福祉士を目指す者。

入学者数 2025年度 12人（うち、離職者訓練生1人）

収容定員 1学年40人（離職者訓練若干名含む）

在籍者数 2025年度 1年生12人（うち、離職者訓練生1人）
2年生16人（うち、離職者訓練生3人）

カリキュラム、時間割及び年間授業計画

カリキュラム

授業科目	1年次			2年次			
	必修・ 選択の別	年間 時間数	週 時間数	必修・ 選択の別	年間 時間数	週 時間数	
介 護	介護の基本I	必修	30	2			
	介護の基本II	必修	30	2			
	介護の基本III	必修	30	2			
	介護の基本IV				必修	30	2
	介護の基本V				必修	30	2
	介護の基本VI				必修	30	2
	コミュニケーション技術I	必修	30	2			
	コミュニケーション技術II	必修	30	2			
	生活支援技術I	必修	30	2			
	生活支援技術II	必修	30	2			
	生活支援技術III	必修	30	2			
	生活支援技術IV	必修	30	2			
	生活支援技術V	必修	30	2			
	生活支援技術VI				必修	30	2
	生活支援技術VII				必修	30	2
	生活支援技術VIII				必修	30	2
	生活支援技術IX				必修	30	2
	生活支援技術X				必修	30	2

	介護過程Ⅰ	必修	30	2			
	介護過程Ⅱ	必修	30	2			
	介護過程Ⅲ				必修	30	2
	介護過程Ⅳ				必修	30	2
	介護過程Ⅴ				必修	30	2
	介護総合演習Ⅰ	必修	60	2			
	介護総合演習Ⅱ				必修	60	2
実 習	介護実習Ⅰ	必修	280	集中			
	介護実習Ⅱ				必修	170	集中
こ こ ろ と か ら だ の し く み	発達と老化の理解Ⅰ	必修	30	2			
	発達と老化の理解Ⅱ	必修	30	2			
	認知症の理解Ⅰ	必修	30	2			
	認知症の理解Ⅱ				必修	30	2
	障害の理解Ⅰ	必修	30	2			
	障害の理解Ⅱ				必修	30	2
	こころとからだのしくみⅠ	必修	30	2			
	こころとからだのしくみⅡ	必修	30	2			
こころとからだのしくみⅢ	必修	30	2				
こころとからだのしくみⅣ					必修	30	2
人 間 と 社 会	人間の尊厳と自立	必修	30	2			
	人間関係とコミュニケーションⅠ	必修	30	2			
	人間関係とコミュニケーションⅡ				必修	30	2
	社会の理解Ⅰ	必修	30	2			
	社会の理解Ⅱ				必修	30	2
	ホスピタリティマナー	必修	30	2			
	就職対策				必修	30	2
	学習支援演習				必修	30	2
医 療 的 ケ ア	医療的ケアⅠ				必修	30	2
	医療的ケアⅡ				必修	30	2
	医療的ケアⅢ				必修	30	2
	医療的ケアⅣ				必修	30	2
必修科目合計			1030			890	
卒業必要時間数			1030			890	

時間割 (2025 年度)

1年 前期

	1限(9:15~10:45)	2限(10:55~12:25)	3限(13:15~14:45)	4限(14:55~16:25)
月	生活支援技術Ⅰ	生活支援技術Ⅱ		
火	介護の基本Ⅱ	介護の基本Ⅰ	こころとからだのしくみⅠ	
水	人間関係とコミュニケーションⅠ	社会の理解Ⅰ		
木	コミュニケーション技術Ⅰ	介護総合演習Ⅰ※	こころとからだのしくみⅡ	
金	生活支援技術Ⅴ	ホスピタリティマナー	発達と老化の理解Ⅰ	

1年 後期

	1限(9:15~10:45)	2限(10:55~12:25)	3限(13:15~14:45)	4限(14:55~16:25)
月	こころとからだのしくみⅢ	発達と老化の理解Ⅱ		
火	介護過程Ⅰ	介護過程Ⅱ	介護の基本Ⅲ	
水	人間の尊厳と自立	障害の理解Ⅰ		
木	コミュニケーション技術Ⅱ	介護総合演習Ⅰ※		
金	生活支援技術Ⅲ	生活支援技術Ⅳ	認知症の理解Ⅰ	

2年 前期

	1限(9:15~10:45)	2限(10:55~12:25)	3限(13:15~14:45)	4限(14:55~16:25)
月	医療的ケアⅠ	認知症の理解Ⅱ		
火	生活支援技術Ⅵ	生活支援技術Ⅷ	生活支援技術Ⅷ	
水	人間関係とコミュニケーションⅡ	介護過程Ⅲ	介護過程Ⅳ	
木	介護総合演習Ⅱ※	こころとからだのしくみⅣ		
金	介護の基本Ⅳ	医療的ケアⅡ	就職対策	

2年 後期

	1限(9:15~10:45)	2限(10:55~12:25)	3限(13:15~14:45)	4限(14:55~16:25)
月	生活支援技術Ⅷ	生活支援技術Ⅸ		
火	社会の理解Ⅱ	障害の理解Ⅱ		
水	介護の基本Ⅴ	介護の基本Ⅵ	介護過程Ⅴ	
木	医療的ケアⅢ	医療的ケアⅣ	介護総合演習Ⅱ※	
金	学習支援演習			

年間授業計画 (2025 年度前期)

青色：授業期間 赤色：定期試験期間 紫色：予備日 (補講日)

橙色：1 年次実習期間 黄色；2 年次実習期間

月	週	日	月	火	水	木	金	土	学年	予 定
4月	1			1	2	3	4	5	1年	2: 入学式
	2	6	7	8	9	10	11	12	1・2年	3: ガイダンス 7: 前期授業開始
	3	13	14	15	16	17	18	19	1・2年	18: 全校交流会(15:00~)
	4	20	21	22	23	24	25	26	1・2年	19: 予備日(補講日)
	5	27	28	(29)	30				1・2年	24: 実習 I の報告会 29: 授業日
5月	週	日	月	火	水	木	金	土		
	1					1	2	(3)	1・2年	10: 予備日(補講日)
	2	4	(5)	(6)	7	8	9	10		
	3	11	12	13	14	15	16	17		
	4	18	19	20	21	22	23	24		
	5	25	26	27	28	29	30	31		
6月	週	日	月	火	水	木	金	土	1年	4~6: 実習 I a(3日)
	1	1	2	3	4	5	6	7	2年	5: 模擬試験(第1回)
	2	8	9	10	11	12	13	14	2年	6: 就職フェア
	3	15	16	17	18	19	20	21	1・2年	14: 予備日(補講日)
	4	22	23	24	25	26	27	28	1年	19: 実習 I a報告会
5	29	30						2年	27: 府立看護学校合同授業	
1・2年	24~27: 健康診断(午後)									
7月	週	日	月	火	水	木	金	土		
	1			1	2	3	4	5	1・2年	19・26: 予備日(補講日)
	2	6	7	8	9	10	11	12	1・2年	22~28: 前期試験
	3	13	14	15	16	17	18	19	1年	29~8/12: 実習 I b(10日)
	4	20	(21)	22	23	24	25	26	2年	29: 模擬試験(第2回)
5	27	28	29	30	31					
8月	週	日	月	火	水	木	金	土		
	1						1	2		
	2	3	4	5	6	7	8	9	2年	19~9/18: 実習 II (22日)
	3	10	(11)	12	13	14	15	16		
	4	17	18	19	20	21	22	23		
5	24	25	26	27	28	29	30			
6	31									
9月	週	日	月	火	水	木	金	土		
	1		1	2	3	4	5	6		
	2	7	8	9	10	11	12	13		
	3	14	(15)	16	17	18	19	20	1・2年	22: 後期授業開始
	4	21	22	(23)	24	25	26	27		
5	28	29	30							

年間授業計画 (2025 年度後期)

青色：授業期間 赤色：定期試験期間 紫色：予備日（補講日）

橙色：1 年次実習期間 黄色；2 年次実習期間

月	週	日	月	火	水	木	金	土	学年	予 定
10月	1				1	2	3	4		
	2	5	6	7	8	9	10	11	1・2年	9: 実習 I b 報告会
	3	12	⑬	14	15	16	17	18	1・2年	11: 予備日(補講日)
	4	19	20	21	22	23	24	25	1年	13: 舞鶴赤れんがハーフマラソンボランティア
	5	26	27	28	29	30	31		1・2年	16: 実習 II 報告会
	6								2年	24: 模擬試験(第3回)
11月	週	日	月	火	水	木	金	土		
	1							1		
	2	2	③	4	5	6	7	8	1・2年	3: 授業日
	3	9	10	11	12	13	14	15	1・2年	8: YMCA 祭(予定)
	4	16	17	18	19	20	21	22	1・2年	24: 授業日
	5	23	④	25	26	27	28	29	2年	28: 学力評価試験
12月	週	日	月	火	水	木	金	土		
	1		1	2	3	4	5	6	2年	1: 介護技術試験
	2	7	8	9	10	11	12	13	1・2年	6: 予備日(補講日)
	3	14	15	16	17	18	19	20	2年	19: 模擬試験(第4回)
	4	21	22	23	24	25	26	27		
	5	28	29	30	31					
1月	週	日	月	火	水	木	金	土		
	1					①	2	3		
	2	4	5	6	7	8	9	10	1・2年	10・17・24: 予備日(補講日)
	3	11	②	13	14	15	16	17	1・2年	13~19: 後期試験
	4	18	19	20	21	22	23	24	2年	20~23: 集中講義
	5	25	26	27	28	29	30	31	2年	25: 国家試験(予定)
2月	週	日	月	火	水	木	金	土		
	1	1	2	3	4	5	6	7		
	2	8	9	10	⑩	12	13	14		
	3	15	16	17	18	19	20	21		
	4	22	⑪	24	25	26	27	28		
	5									
3月	週	日	月	火	水	木	金	土		
	1	1	2	3	4	5	6	7		
	2	8	9	10	11	12	13	14		
	3	15	16	17	18	19	⑫	21	2年	19: 卒業式
	4	22	23	24	25	26	27	28		
	5	29	30	31						

進級、卒業の要件等

○進級卒業の基準

進級及び卒業資格は、定められた期間在籍し、以下の基準を満たした者について、判定会議での総合的な評価を加えて与えられる。

1) 各科目…全て履修しなければならない

進級：カリキュラムによる全必須科目 1030 時間数

卒業：カリキュラムによる全必須科目 1920 時間数（2 年次必須科目 890 時間数）

2) 出席率…年間 80%以上であること。

・遅刻または早退 3 回を以て 1 時限の欠席とする。

・入院などの理由による欠席で診断書の届出があり、それがやむを得ない理由と承認された場合は一定期間考慮する。

3) 学費その他納付金の納入が完了していること。

○審査・及び決定

進級・卒業の決定は（進級・卒業の基準）に基づいて進級・卒業判定会議にて審査し、校長が決定し、履修証明を成績表として通知する。卒業が認定されたものには卒業証書を授与する。

○卒業者に与えられる称号 専門士（社会福祉専門課程）

学習の成果として取得を目指す資格、合格実績

目指す資格 介護福祉士（国家資格）

合格実績 2024 年度卒業生 介護福祉士国家試験合格率 100%（16 人中 16 人）

卒業生数、卒業後の進路（就職者数、主な就職先）

卒業生 2024 年度 16 人

就職率 100%（就職希望者 16 人中 16 人が就職）

主な就職先

（社福）大樹会、（社福）京都眞生福祉会、（社福）福知山学園、（社福）空心福祉会、（社福）与謝郡福祉会、（社福）博愛福祉会、（社福）成光苑、（社医）正峰会、（国共連）舞鶴共済病院、（社福）みずなぎ学園、（有）グッとサポート

(3) 教職員

校長 加藤 俊明

校長代理 阿部 和博

副校長 中村 彰利

教務部長 中村 彰利

介護福祉学科主任教員 吉田 千草

教職員数

	常勤教員	非常勤教員	職員
男	0	3	1
女	3	2	3
計	3	5	4

教員の所持資格（のべ）

- ・介護福祉士 4人
- ・社会福祉士 1人
- ・介護支援専門員 3人
- ・看護師 3人
- ・手話通訳士 1人
- ・精神保健福祉士 1人
- ・高等学校教諭一種免許（福祉） 1人

教員の専門性を活かした活動実績（2024年度）

- ・「はじめての介護講座」6月～12月の毎月1回、本校教員による市民向けの公開講座を開催。介護する人とされる人が心地よく暮らせるように、病気の理解や介護について学ぶと共に「自身の老い」についても考える講座を開催。これから介護が始まる、介護に悩んでいる、介護について興味・関心のある方が参加されている。
- ・「夏休み小学生介護講座」夏休み中に2回、小学3年生から6年生までを対象に、クイズや絵本の読み聞かせなどを通じて、介護や認知症について学ぶ講座を開催した。小学生の時から介護や福祉の知識を身につけることにより、将来的にも関心を持ち続けてもらうことを目的としている。

(4) キャリア教育・実践的職業教育

キャリア教育・実習・実技等への取り組み

介護実習Ⅰ 実習期間 目的概要 基本方針 施設との連携内容 評価方法 具体的計画 連携施設等

授業科目名	介護実習Ⅰ	授業時数又は単位数	280時間
実施期間	I a: 6月、3日間、一日8時間 I b: 7月から8月、10日間、週5日、一日8時間 I c: 2月から3月、22日間、週5日、一日8時間		
実習・演習等の目的及び概要	生活の場において、利用者理解を中心に、家族とのコミュニケーションや多職種協働についての理解を深めたり、介護技術を確認することを目的とし、様々な施設や事業所で実践を行い理解を深める。		
企業等との連携の基本方針(連携企業等の選定理由)	介護福祉士養成において知識・技術の向上が達成できる施設で、実習生受け入れの実績や実習指導者の要件を満たす職員配置などの指導体制が整っている施設を選定している。		
企業等との連携内容	実習指導者を対象に懇談会を行い、実習の目的や内容等の確認を行う。不参加施設や特別に必要なある場合には、個々の施設を訪問し確認を行う。実習期間中は担当教員が各施設を複数回訪問し、指導担当者から実習状況を確認するとともに、生徒にも直接会い課題への取り組み状況を確認する。実習終了後は実習担当者からの評価に基づき、担当教員が成績評価・履修認定を行う。		
学修成果の評価方法	実習先の評価(5段階評価)・訪問指導時やカンファレンスの内容、実習記録等の提出物、実習後の報告会での様子などから、総合的に評価を行う。		
実習・演習等計画			
日程	実習・演習等の内容	実施場所	
介護実習Ⅰa(1年次前期)	1日目:施設オリエンテーション 2～3日目:活動の見学や高齢者とのコミュニケーションを図る。	連携施設	
介護実習Ⅰb(1年次夏季)	1日目:施設オリエンテーション 1週目:日々の実習目標に沿って、実習指導者の下、利用者や職員とのかかわりを通じて円滑なコミュニケーション能力を養ったり、生活支援の必要性や基本的技術について理解する。2週目:カンファレンスに向け、課題を明確にする。最終日:最終カンファレンスで、実習指導者や担当教員から実習の統括を受ける。	連携施設	
介護実習Ⅰc(1年次後期)	1日目:施設オリエンテーション 1週目:居宅サービス(訪問介護、通所介護、短期入所サービス(3日間))を経験する(施設によって2週目以降になることもある)。2週目:個別対象者の情報収集、解釈、統合化を行う。3週目:最終カンファレンスに向け、個別対象者の課題を明確化する。4～5週目:中間カンファレンスで実習指導者や担当教員から受けたアドバイスをもとに課題に取り組む。最終日:最終カンファレンスで、利用者の生活支援の実践を通じて、根拠を考えることができたかを、実習指導者や担当教員から統括を受ける。	連携施設	
連携する企業等	特別養護老人ホーム博愛苑、特別養護老人ホーム安寿苑、特別養護老人ホームやすらぎ苑、特別養護老人ホーム真愛の家寿荘、介護老人保健施設アザレア舞鶴 合計32		

介護実習Ⅱ 実習期間 目的概要 基本方針 施設との連携内容 評価方法 具体的計画 連携施設等

授業科目名	介護実習Ⅱ	授業時数又は単位数	170時間
実施期間	8月から9月、22日間、週5日、一日8時間		
実習・演習等の目的及び概要	実習までに学習した知識や技術を総合して、具体的な介護サービス提供の基本となる実践力を習得することを目的とし、利用者ごとの介護計画の作成、実施後の評価やこれを踏まえた計画の修正といった一連の介護過程のすべてを継続的に実践する。		
企業等との連携の基本方針(連携企業等の選定理由)	介護福祉士養成において知識・技術の向上が達成できる施設で、実習生受け入れの実績や実習指導者の要件を満たす職員配置などの指導体制が整っている施設を選定している。		
企業等との連携内容	実習指導者を対象に懇談会を行い、実習の目的や内容等の確認を行う。不参加施設や特別に必要なある場合には、個々の施設を訪問し確認を行う。実習期間中は担当教員が各施設を複数回訪問し、指導担当者から実習状況を確認するとともに、生徒にも直接会い課題への取り組み状況を確認する。実習終了後は実習担当者からの評価に基づき、担当教員が成績評価・履修認定を行う。		
学修成果の評価方法	実習先の評価(5段階評価)・訪問指導時やカンファレンスの内容、実習記録等の提出物、実習後の報告会での様子などから、総合的に評価を行う。		
実習・演習等計画			
日程	実習・演習等の内容		実施場所
介護実習Ⅱ(2年次夏季)	1日目:施設オリエンテーション 1~2週目:個別対象者の情報収集からアセスメント、介護計画を作成する。3~4週目:チームケアの一員としての介護福祉士の役割や責任、職業倫理について考える。中間カンファレンスで実習指導者や担当教員から受けたアドバイスをもとに、再アセスメントを行い、介護過程を展開する。5週目:一連の介護過程を展開し、実習の総括を行う。最終日:最終カンファレンスを受ける。		連携施設
連携する企業等	特別養護老人ホーム博愛苑、特別養護老人ホーム安寿苑、特別養護老人ホームやすらぎ苑、特別養護老人ホーム真愛の家寿荘、介護老人保健施設アザレア舞鶴 合計32		

就職支援等への取組等

1年次 前期 「ホスピタリティマナー」必須科目にて、就職活動や就労後に役立つビジネスマナーを学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ、第一印象、身だしなみ、お辞儀 ・言葉づかい、敬語 ・来客対応(案内・席次、お茶の出し方) ・訪問の仕方 ・名刺交換、紹介の仕方 ・電話の基本 ・仕事における指示の受け方と報告
2年次 前期 「就職対策」必須科目にて、就職活動に役立つ実践的な内容を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・自己理解 ・履歴書の書き方 ・履歴書以外の応募書類について ・身だしなみ講座 ・就職フェア ・面接練習 ・模擬面接

	<ul style="list-style-type: none"> ・個別相談
2年次 後期	<ul style="list-style-type: none"> ・個別相談 ・希望井就職先との各種調整 ・応募書類の確認とアドバイス ・内定獲得後の書類等のフォロー ・内定先との入社等の調整
施設・団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次前期に行う「身だしなみ講座」において、スーツ専門店から講師にお越しいただき、スーツの着方の基本や持物、面接姿勢などを学んでいる。 ・2年次前期に行う「就職フェア」において、生徒が希望する施設の担当者にお越しいただき、業務内容、労働条件などについて説明を受ける。実習で行けなかった施設や、見学だけでは理解しにくい内容などについて、質疑応答を交えて理解を深める。本校卒業生が担当者として派遣されることもあり、その場合は忌憚のない質疑応答も行われている。 ・2年次前期に行う「模擬面接」において、YMCAのサポート組織であるワイズメンズクラブのメンバーに面接官を依頼し、実際の面接練習を行う。ワイズメンズクラブの担当者は企業や自営業の取締役等であり、経営者の立場からの面接が可能である。模擬面接の後に、その場で個別アドバイスをもらい、実際の面接に生かしている。

(5) 様々な児教育活動・教育環境

学校行事への取組状況

(2) 各学科等の教育 年間授業計画の「予定」欄にて掲載

課外活動

- ・2024年10月14日（祝）舞鶴赤れんがハーフマラソンボランティア
介護福祉学科1年生（16人）が給水、コース整理、ゴール後チップ回収等ボランティアとして参加。
開校時（2015年）より毎年参加。

(6) 学生の生活支援

学生支援への取組状況

毎月2回実施の教職員会議において、生徒の生活状況や学習状況を全教職員が共有し把握し、状況に応じた適任教職員が面談や相談を行っている。面談結果は教職員に報告され、その後の生徒の状況も全員が注視してサポートしている。必要に応じて、三者面談を行い家庭との協力も行っている。

また学校内で解決が難しいと判断した場合には、外部の機関を紹介するなどの措置を行っている。

(7) 学生納付金・修学支援

学生納付金の取り扱い

学費

学年	授業料（年間）	施設費	実験実習費	入学金
1年	580,000円	170,000円	150,000円	150,000円
2年	590,000円	170,000円	150,000円	—

テキスト代（初年度約40,000円、2年次約20,000円）。ユニフォーム代（初年度約16,000円）、
傷害・疾病・賠償責任保険料、実習時の交通費・宿泊費（必要時）は自己負担。

学費納入時期については、ホームページ [学生募集要項](#)にて掲載。

活用できる経済的支援措置の内容等（奨学金等の案内）

1. YMCA 国際・介護奨学金

本校に在籍し、以下の条件を全て満たす学生に、15万円を奨学金として給付する制度です。他の奨学金との併用は不可。

- ①成績が優秀な者②本校の教育方針をよく理解し、他の学生の模範となる者
- ③授業にのぞむ態度が積極的で、出席率が精勤以上の者

2. 日本学生支援機構による奨学金

専修学校（専門課程）や大学等で学ぶ人を対象とした、国が実施する貸与型の奨学金です。本校からの推薦の後、日本学生支援機構の審査を経て採用が決定します。入学後の4月下旬頃に説明会を行います。
第一種奨学金（無利子）：月額2万～5万3千円（自宅外通学生は2万～6万円）から、本人が選択
第二種奨学金（有利子）：月額2万～12万円のうち、本人が選択

3. 地方自治体の奨学金

卒業後、介護福祉士として業務に従事しようとする方を対象。

詳しくは、各自治体にお問い合わせください。（以下は、2024年度生実績）

舞鶴市	年間100万円（上限額）を最大2年間貸与。介護福祉士として舞鶴市に3年勤務すれば返還免除。 問い合わせ先：舞鶴市役所高齢者支援課 0773-66-1013
宮津市	年間100万円（上限額）を最長2年間貸与。介護福祉士として宮津市に居住し、宮津市内で3年間勤務すれば返還免除。問い合わせ先：宮津市役所健康福祉室地域福祉係 0772-45-1618
綾部市	年間100万円（上限額）を最長2年間貸与。卒業後1年以内に介護福祉士として綾部市で3年間勤務すれば返還免除。問い合わせ先：綾部市福祉保健部高齢者介護課 0773-42-4261
京丹後市	月額5万円。介護福祉士として京丹後市で3年間勤務すれば返還免除。京都府との併用可。 問い合わせ先：京丹後市長寿福祉課 0772-69-0330
与謝野町	月額5万円以下（年額60万円）を2年間貸与。卒業後与謝野町内で介護福祉士として介護等の業務に3年間従事した場合は、返還免除。問い合わせ先：与謝野町福祉課介護高齢係 0772-43-9021
福知山市	福知山市年間30万円（上限額）を最大2年間貸与。介護福祉士として福知山市に3年勤務すれば返還免除。問い合わせ先：福知山市高齢者福祉課 0773-24-7013
京都府	月額5万円、入学準備金20万円、就職準備金20万円貸付。介護福祉士として京都府内に5年勤務すれば返還免除。問い合わせ先：京都府社会福祉協議会総務部 075-252-6292

4. その他の奨学金

公益財団法人交通遺児育英会奨学金 など

5. 国の教育ローン

本校は学校教育法に基づく学校として、国による低金利の融資制度「国の教育ローン」（日本政策金融公庫）を利用することができます。教育ローンコールセンター 0570-008656

6. 京都府と近畿労働金庫の提携ローン

京都府内に居住または勤務されている勤労者を対象とした低金利の教育資金特別融資制度です。現在安定した収入のある方が対象で、本人またはそのご子弟が進学予定の場合にご利用いただけます。
*その他の金融機関の教育資金融資制度については、各金融機関にお問い合わせください。

(8) 学校の財務

次のリンクにてご確認ください（2024年度） [情報公開](#)

- ・ 正味財産増減計画書
- ・ 貸借対照表
- ・ 財産目録
- ・ 正味財産増減計画書
- ・ 貸借対照表
- ・ 財産目録

(9) 学校評価

[自己評価及び改善方法](#)

次のリンクにてご確認ください（2024年度） [情報公開](#)